

新高通信



第78号

秋田県立新屋高等学校

「地域と共に」

校長 久慈 隆正



これまで本校では、日吉神社の山王祭で御神輿を担いだり、冬にはあらや大川散歩道の雪まつりでヤマハゲに扮したり、栗田支援学校の運動会や文化祭等への参加が恒例行事となっております。コロナ禍で地域の行事への参加がかなわない状況ではありますが、今年度は新高祭で3年生の家族限定でしたが、公開をすることができました。また、年2回行っている「ももさだ海岸清掃」も継続しております。今後も感染対策の徹底を行いながら、できるだけ行事を行えるように検討して参りたいと考えております。

本校では「総合的な探究の時間」に、SDGsの視点を持って、1年生は「地域を知る」、2年生は「地域で活動」、3年生は「地域に貢献」という目標を立てて活動を行っております。また、本校独自の科目である、「地域コミュニケーション」でも地域に出かけ様々な体験をしております。

今年度から制服が新しくなり、令和6年度に予定されている創立40周年記念式典では、全学年が新制服で出席することになります。登下校時に見かけることもあるかもしれませんが、組み合わせが自由な制服のため、様々なパターンがあります。マスコミ等で報道されておりますが、制服以外にも様々な活動について本校のホームページで発信しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

さて、既に報道されましたが、来年度の入学生から1学級減となります。これにより、現在の35名×5クラス=175名が、40名×4クラス=160名となります。しかし、県で進めているデジタル人材育成事業において、本校にデジタル探究コースの設置が検討されております。これにより、本校に新たな魅力が加わると期待しているところであります。

学校を取り巻く環境は、厳しくなっております。これまでもいろいろな困難はありましたが、地域の皆様に育てて頂き、地域と共にここまで来ております。引き続き、地域の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

「令和4年度オープンスクールについて」
教務部 青山 進

7月29日（金）、33校の中学校から235名の3年生に参加していただきました。当日、オリエンテーションでは、生徒会代表あいさつ、生徒会執行部による学校説明プレゼンテーション、吹奏楽部や軽音楽同好会の演奏など、中学生が新屋高校での高校生活を予見できるようなコンテンツを発表し、好評を得ることができました。

また、オリエンテーションの後には、希望する部活動を見学したり、進学相談会を行いました。各部の趣向を凝らした活動紹介により、とても楽しい交流の時間となりました。

参加した中学生のアンケートには、「秋田県SDGsパートナー登録校やジェンダーレス制服など、他校にはない新屋高校の特徴がよく分かってよかった。」「生徒の個性が輝く学校だと思いました。絶対合格して入学したいと思いました。」「学力や部活動だけではなくSDGsにも力を入れていて、秋田のことも考えられる学校だと思いました。」「部活動だけでなくクラスや学校自体の雰囲気も明るくて入学してから安心して通えそうだった。」「今日のオープンスクールはとても勉強になり、最高の思い出になりました。」といった嬉しい感想が多く寄せられていました。参加した中学生の進路選択の一助として盛況のうちに終えることができました。

「令和4年度地域懇談会について」
総務部 高橋 健

9月9日（金）、本校会議室を会場に開催しました。昨今のコロナ禍により地域の方々との交流が制限されている中での実施ではありましたが、地域の関係者と本校職員を合わせて16名の会となりました。

会では、本校職員からの学校の概況説明の後に、地域の方々からのご意見を頂戴しました。地域の方々からは、本校の新制服やSDGsに関する新たな取り組みについての評価が出された一方で、コロナ禍で低迷している学校行事や地域交流活動の取り組みの一層の活性化への期待の声が寄せられました。

また「学校も地域の活動や取り組みについての理解と協力が欲しい」ということで、新屋駅東口（と付近に駐輪場）の開設に向けての協力要請や、ももさだ海岸清掃ボランティアに関連したハマボウフウの栽培や保護にも協力が欲しいといった意見が出されました。これ以外にも「10月より新屋駅から本校までの間の道路で工事が始まる予定なので、登下校で利用する生徒に向けての注意や指導が必要である」といった地域の方々でなければわからない貴重な情報を提供していただけたなど、1時間半ほどの短い時間ではありましたが、非常に有意義な会となりました。



「校内研修報告」

研修部 佐藤 誠男

今年度の本校の研究課題は「生徒が自ら学ぶ力を育むための振り返りの工夫」となりました。その実践に向けて教務部より提示された「振り返りシート」の活用について、教員間で情報共有を図りました。8月末より同シートを授業で導入し、試行期間を置き、9月12日～16日に例年実施している互見授業の機会を設けました。

互見授業では、参観後にGoogle Formsにてシートの活用状況や、ICTの授業への導入状況について情報を収集しました。ICTに関しては、教材の電子化も進んでいて、昨年度に比べ、先生方の積極的な活用が見られました。一方で、シートの活用については、活用方法を模索中であったり、実施していないというコメントもあり、全校が実践的な取組みに至っていない様相も確認されました。

これらを受けて、9月23日に行った校内研修では担当より前述の内容を職員に報告し、協議しました。協議では従来の付箋紙に代えてGoogle Jamboardによる意見集約を試みました。シートの導入によって、「学びの言語化」、「前時の内容確認の時間短縮」など積極的な活用場面がある一方で、「振り返りが生徒の真意なのか不明」、「授業時間が不足してしまう」といった課題も見られました。来年度に向けて、振り返りシートの項目や内容、活用方法について、企画研修部で今後も検討していきたいと考えています。

「3年ぶりの県外修学旅行へ」

2年部主任 白沢 充

11月9日（水）から12日（土）の3泊4日の日程で、3年ぶりに県外への修学旅行を実施します。奈良公園や伊勢神宮、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、清水寺を全員で見学し、3日目には京都市内班別自主研修を行います。初めて訪れる地で、生徒は公共交通機関を利用して、各班の計画に沿って寺社仏閣等の名所を観光します。日本の歴史や文化に触れ、仲間との絆を深め、そして、集団で行動する際のルールの大切さや助け合いの精神を学ぶ機会であると考えています。新型コロナウイルス感染症への対策を万全にして、有意義な旅行にしたいと思います。

2年生の教養コースでは、学校設定科目「地域コミュニケーション」の授業で農業体験や新屋地区清掃活動、日吉神社宮司講話など地域で活動する授業を行っています。地域の方々と接しながら、様々な体験を通して社会性や主体性を身に付けさせ、少しでも地域貢献に繋がるような活動を行いたいと考えています。引き続き、コロナ禍で校外での活動に制約が多い状況が続きますが、地域と連携した教育活動を行いますので、新屋地区の皆様のご協力をお願いします。

※訂正 前回配付号を76号としていましたが、正しくは77号でした。

部活動の記録 新人戦(10月24日まで開催分) (全県大会3位以上)

〈陸上部〉

秋田県新人陸上競技大会

男子円盤投	第2位	松浦悠馬 (東北大会出場)
女子7種競技	第1位	鎌田菜瑚 (東北大会出場)
学校対抗女子混成混合	第1位	

〈ソフトボール部〉

秋田県高校新人ソフトボール大会

第1位 (全国大会出場)

〈サッカー部〉

全国高等学校サッカー選手権秋田県大会

第3位

〈弓道部〉

秋田県高校弓道新人大会

男子団体	第2位	(東北大会出場)
男子個人	第3位	田仲 凌大 (東北大会出場)
女子個人	第1位	高橋 楓花 (全国大会出場)

※その他の結果はHPをご覧ください。

トピックス



10月19日（水）
全国高等学校サッカー
一選手権大会秋田大
会準決勝秋田商業高
校戦、全校応援を行
いました。



第37回吹奏楽部定期演奏会が10月22日アトリオンホールで行われました。

